

Belgium Love Tieup

ベルギーから愛のプレゼント

Present ◆初日プレゼント◆ ベルギーNo1シェアチョコレートのコートドールバーをプレゼント

純白のゾウのマークが目印のチョコレートブランド、コートドールから食べやすいバータイプを初日1月31日(土)ご来場の方に先着300名様にプレゼント致します。
《恵比寿ガーデンシネマのみ/種類は選べません》 <http://cotedor.jp>



Present ◆バレンタインデー来場者プレゼント◆ 2月14日(土)バレンタインデーはスペシャルプレゼントデー

愛を伝えるロマンチックな日、2月14日(土)は、ベルギーから届いた素敵な贈り物をプレゼント致します。ベルギー生まれのカジュアルバッグブランドのキプリングからミニボストンバッグ(3名様)、ベルギー王室御用達チョコレートのノイハウスからブラリネアソートメント(10名様)、そしてベリー果汁をブレンドしたベルギービール、グリゼット フリュイデボア(20名様)を当日ご来場の方に抽選でプレゼント!

《恵比寿ガーデンシネマのみ/詳しくは劇場または作品ホームページにて》

提供:キプリング www.kipling.jp Tel.03・5496・7005(お客様センター)

ノイハウス www.neuhaus.co.jp 銀座本店 Tel.03・3567・3651

ビア・バー ブラッセルズ 詳しくは www.brussels.co.jp をご覧ください。

3名



kipling

10名



neuhaus
Couture Chocolaterie
1897

20名



BRUSSELS

Matsuya Valentine's Day

松屋銀座バレンタインフェアで劇場鑑賞券プレゼント

バレンタインフェア期間中に松屋銀座館内の対象売場にて10,000円(税込)以上お買い上げのお客様に抽選で合計50組100名様に劇場鑑賞券をプレゼントするキャンペーンを実施。バレンタインデーに「ロルナの祈り」の愛のプレゼントを。

松屋銀座バレンタインフェア
1月28日(水)~2月14日(土)
Tel.03・3567・1211(大代表)



MATSUYA GINZA

Sweets & Cafe

オリジナルデザート“ワッフルプレート ベルギーの4フルーツソース”

ベルギー・フランドルス地方の老舗コンフィチュールブランド、ベルベリーでは、チョコレートを練りこんだスイーツワッフルに、ベルギー特産のベリー類を使ったコンフィチュール「フォーフルーツ」を合わせて、ベリー類もたっぷりとしたデザートプレートを、「ロルナの祈り」の公開を記念して期間限定で展開します。

期間:1月24日(土)~3月1日(日)

価格:1,050円(ドリンクセットは1,470円/共に税込)

東京ミッドタウン ガレリアB1F

Tel.03・5413・0374

www.belberry.jp



Travel to Belgium!

ベルギーを旅しよう。

映画の主な舞台になったのは、ベルギー南部ワロン地方の都市・リエージュ。日本でなじみの“ベルギーワッフル”=“リエージュ風ワッフル”発祥の地でもあるこの都市は、人々をあたたかくもてなす美しい街。旅に出る前に、ベルギー情報満載のホームページで見どころをチェック!

ベルギー観光局ワロン・ブリュッセル

Tel.03・3237・7101

www.belgium-travel.jp



©OPT-Joseph Jeanmart

1/31(土)、愛のロードショー!

特別鑑賞券絶賛発売中!.....当日一般¥1,800の他
一般券¥1,500 ペア券¥2,800(お二人で劇場窓口のみ)

劇場窓口でお買い求めの方に限り、
ヴァイナススパ ハンドトリートメント
ミニサンプル ザクロ&ワイルドベリー
の香りをプレゼント!(限定数)
提供: **FITS**



写真はイメージです。

恵比寿ガーデンシネマ

恵比寿ガーデンプレイス内・恵比寿三越となり
03・5420・6161 kadokawa-gardencinema.jp 定員制・入替制

●奥席及び上映開始後の入場はできません。●事前に混雑状況をお問い合わせください。

10:30(予告なし) | 12:30 | 14:45 | 17:00 | 19:15
※2/16(月)は法定点検日のため、休館。

大阪●梅田ガーデンシネマ 06・6440・5977 | 京都●京都市みなみ会館 075・661・3993 | 兵庫●神戸アートビレッジセンター 078・512・5500 | 神奈川●109シネマズ川崎 0570・007・109 | 愛知●名古屋シネマテーク 052・733・3959
福岡●ソラリアシネマ 092・733・7375 | 北海道●シアターキノ 011・231・9355 | 千葉●シネマックス千葉 043・202・0088 | 群馬●シネマテークたかさき 027・325・1744 | 宮城●桜井薬局セントラルホール 022・263・7868
広島●横川シネマ 082・231・1001 | 岡山●シネマ・クレール 086・231・0019 | 三重●進富座 0596・28・2875 | 石川●シネモンド 076・220・5007 | 愛媛●シネマルナティック 089・933・9240 | 沖縄●桜坂劇場 098・860・9555 | 他、全国順次公開



ベルギーから届いた、
愛の奇跡。

2008年 カンヌ国際映画祭 最優秀脚本賞 「ロルナの祈り」
2005年 カンヌ国際映画祭 パルムドール大賞 「ある子供」
2002年 カンヌ国際映画祭 主演男優賞 「息子のまなざし」
1999年 カンヌ国際映画祭 パルムドール大賞 主演女優賞 「ロゼッタ」

ジャン＝ピエール&リュック・ダルデンヌ監督作品

ロルナの祈り

偽りの結婚から愛が生まれた時、彼は消えた。愛の祈りは、奇跡の旋律となって響き出す——。
カンヌ映画祭で2度のパルムドールを受賞した世界の名匠ダルデンヌ兄弟が初めて描く、愛の傑作。

監督・脚本:ジャン＝ピエール&リュック・ダルデンヌ 出演:アルタ・ドブロシ、ジェレミー・レニエ、ファブリツィオ・ロンジョーネ
エンディング曲:ベートーヴェン ピア・ソナタ第32番・短調作品111第2楽章アリエッタ 演奏:アルフレッド・ブレンデル 1996 Universal International Music BV
原題:Le silence de Lorna | 2008年 | ベルギー=フランス=イタリア | 1:1.85 | カラー | ドルビー-SRD | 105分
後援:欧州連合(EU)駐日欧州委員会代表部 配給:ビターズ・エンド

<http://lorna.jp>

これまで見たことのない、驚きの展開のラブストーリー！待っているのは、感動のラストシーン。 名匠ダルデンヌ兄弟が初めて描いた“愛の物語”は、深く優しくエモーショナルな、奇跡のような映画。

愛はどこにも生まれる…かくも激しく静かに、貪欲で崇高に。
愛の多面性を浮き彫りにし、真実の愛とは何かを観客に問い続ける。

愛することは、ひたむきに祈ることかもしれない。

—— 黛まどかさん(俳人)



さまざまな愛がこの世にはある。
この主人公の二人のような愛の無いところから愛が生まれる深いストーリーに
私はしばらく呆然とした。

映画を見た方は、これから見る方に結末を絶対に教えないでほしい。

最後に流す涙の味はきっとしょっぱく、そして甘い。

—— 森理世さん(2007 ミス・ユニバース)

守りたい。そう思える相手がいることの幸せ。

その人の為に明日があることの幸せ。

—— やまだないとさん(漫画家)



ダルデンヌ作品における独自のリアリティは今作において
“物語の核の部分を省略する”という大胆な方法をとる事によって、いつも増して力強いものになっている。
映画の後半のロルナは“社会”や“物語”から解放され、単なる一人の女としてスクリーンの中で生きている。

シンプルな表現だけど物凄い才能がなきゃ出来ない事だと思った。

—— 山下敦弘さん(監督)

愚かでも人を救うこと

絶望の中でも命をはぐくむことが

人の本能なのか

もしそうだとすれば
今こそ その力を振るう時が来た
この映画は語っている。

—— 名越康文さん(精神科医)

ヨーロッパの闇と傷が、ふりしぼるような愛情で描かれている。

—— 平田オリザさん(劇作家)

ダルデンヌ兄弟が、不覚にも流したひとしずくの涙が、
ベートーヴェンのアリエッタになった。

—— 黒田恭一さん(音楽評論家)



沈黙が祈りに変わるとき、ロルナのまなざしは、
ありえなかった愛の底に届く。

ここにはない命まで宿して。

—— 堀江敏幸さん(作家)



アルバニアでの貧しく辛い生活から逃れて、ベルギーへやってきたロルナ。故郷
の恋人と、ここでお店を開くのが夢だ。だが、国籍を得るために彼女がしたことは
麻薬中毒の青年クローディとの偽りの結婚。偽りの結婚でも、孤独なクローディは
ロルナを慕うが、彼女には彼には決して言えない重大な秘密があった…。



プロモーションのため
来日した3人。

左より
リュック・ダルデンヌ監督(弟)
アルタドプロシ
ジャン＝ピエール・ダルデンヌ監督(兄)
2008年11月撮影



どんなに過酷な状況でも、
そこから抜け出すために必要なのはお金やパスポートではなく、
大切な誰か—その人が不在であっても—の存在
なのだということを、ロルナは証明してくれる。

—— 長島有里枝さん(写真家)

ロルナは一貫性がない。唐突に予想外な方向に行く。

それでかえって彼女のことを「わかる」と思った。

—— 岡田利規さん(演劇作家・小説家/チェルフィッチュ主宰)

ロルナが苦しみの中で唯一信じるものを手に入れたとき、

人はいかなる状況でも生きることへ向かうべきだと気付かされた。

—— 島本理生さん(作家)



麻薬中毒者に献身的に尽くす女

ロルナの生き方を賛美。

『黄金の腕』のキム・ノヴァクを彷彿した。

—— 金子國義さん(画家)

ロルナの瞳の奥にある深い孤独が胸を打つ。

純粋な愛に芽生えた彼女が見つめる希望への灯が、
ベートーヴェンのピアノソナタに映し出される。生きる矛盾を巧に描き出した傑作だ。

—— 千住真理子さん(ヴァイオリニスト)

受動的で表情なく生きるロルナ。

だからこそ彼女の感情が溢れ出したその瞬間が、苦しくて愛おしい。

—— 大森美香さん(脚本家・監督)



沈黙のロルナから、感情が生まれてくる描写が切なくて切なくて…。

彼女の強さ、そしてクローディへの愛は、まさに母性そのものなのです。

—— marie claire 編集部 小脇弥香さん

(順不同)

<about DIRECTOR>

“ダルデンヌ兄弟”が巨匠と呼ばれる理由

兄弟監督といえば、アメリカではコーエン兄弟(『ノカントリー』)が有名。
一方、ヨーロッパではベルギー出身のダルデンヌ兄弟である。「僕らが喧嘩
するのは、きょうのレストランはどうするかといった、つまらないことだけ(笑)」
と笑いながら話す2人は、映画作りで兄弟喧嘩をすることは滅多にないそう。
そんな茶目つけ溢れる彼らだが、いつも社会の底辺に生きる人を見つめる
真摯な作品を撮り続け、カンヌ国際映画祭で2度のパルムドール(最高賞)と
主演男優賞、そして本作でも脚本賞を受賞し、4作連続受賞という快挙を達
成した世界の“大巨匠”なのだ。

<about ACTRESS>

難民キャンプからカンヌのレッドカーペットへ シンデレラストーリーを手に入れたヒロイン

主役のロルナの演じたのは、内戦前の一触即発の雰囲気の中のコソヴォで
育ち、内戦中はマケドニアの難民キャンプで働きながら暮らしていたという異
色の経歴を持つ新進女優アルタドプロシ。本作ではオーディションで監督
に見出され、髪を切ることで、3ヶ月でフランス語をマスターすることを条件に
ロルナ役を射止めた。その豊かな存在感で、カンヌでは主演女優候補にも
名前があがり、この1作で世界の注目を浴びた。

<about MUSIC>

ベートーヴェン生涯最後の美しいピアノ・ソナタ

ベートーヴェンといえば、“第九”のような重厚なイメージを抱いている方も多いかもしれない。しかし、実
は穏やかな美しい楽曲も数多く、人気が高い。中でも、この映画のラストシーンで流れる、彼が生涯最
後に作った至高のソナタ、《ピアノ・ソナタ第32番第2楽章アリエッタ》は有名。演奏は、2008年をもって
引退を表明し、世界を驚かせたばかりの名ピアニスト、ブレンデル。主人公のロルナを優しく包み込むよ
うなピアノの調べをお聞きのがしなく。



アルフレッド・ブレンデル/アーティスト・チョイス・コレクション
UCCP-1131/8 (8枚組) ¥8,000 (¥7,619)
映画で使用されたピアノ・ソナタ第32番第2楽章《アリエッタ》収録!

監督・脚本:ジャン＝ピエール&リュック・ダルデンヌ『ある子供』『息子のまなざし』 出演:アルタドプロシ、ジェレミー・レニエ『イゴールの約束』『ある子供』、フナリツオ・ロンジョーネ『ロゼッタ』
エンディング曲:ベートーヴェン ピアノ・ソナタ第32番ハ短調作品111第2楽章 演奏:アルフレッド・ブレンデル(1996 Universal International Music B.V.) 2008年 | ベルギー=フランス=イタリア
1:1.85 | カラー | ドルビー-SRD | 105分 | 原題:Le silence de Lorna 日本語字幕:寺尾次郎 後援:欧州連合(EU) 駐日欧州委員会代表部 配給:ピタース・エンド

http://lorna.jp

